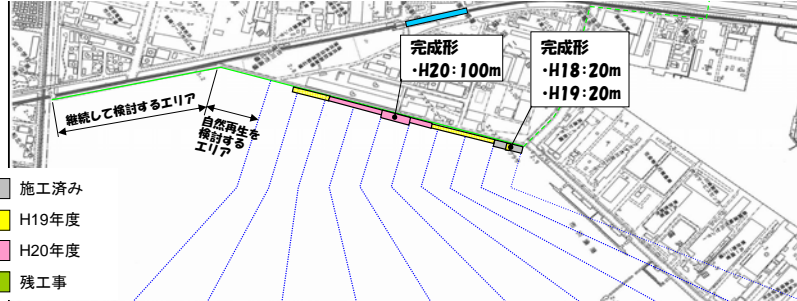


第2案：完成形100m案

⇒ (捨石、海側H鋼杭) + (中央部100m完成形) + (陸側H鋼杭・鋼矢板 260m)



工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海城工事 捨石+H鋼杭 (倒壊防止)		120m			356m			230m	100m
被覆石 (バリエーション)					100m				20m
陸城工事 H鋼杭+鋼矢板 (倒壊防止)						260m			80m
被覆石 (バリエーション)					100m				20m

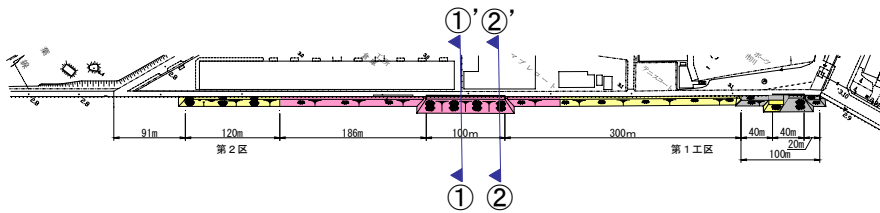
メリット

- 対象範囲の緊急対応が完了する。
- 比較的広い範囲での新基本断面が確認できる。

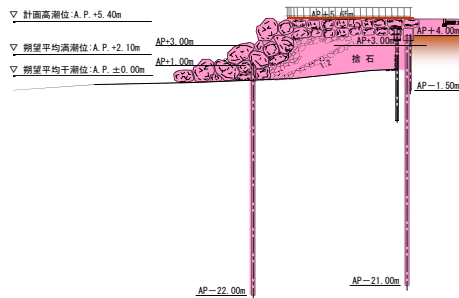
デメリット

- 完成形とする範囲のバリエーション検討時間が短い。
- 完成形区間の底質に係わる判定基準値を早急に決める必要がある。
- 台船を使用した海上工事が必要となり、工事費が割高となる。

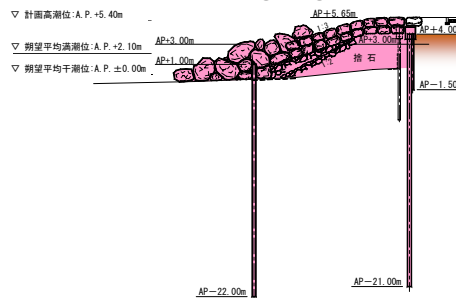
第2案：完成形100m案 施工断面図



①-①'断面 デッキあり

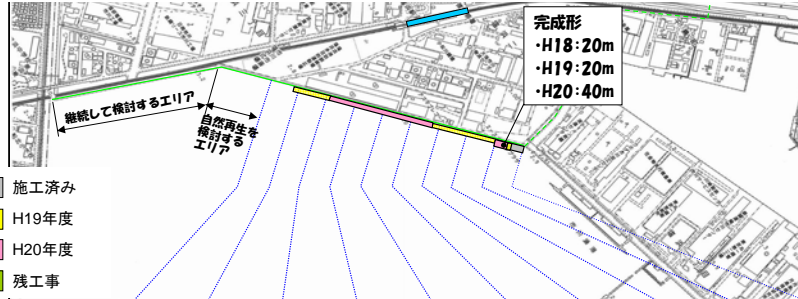


②-②'断面



第3案：完成形40m案

⇒ (捨石、海側H鋼杭)+(完成形40m)+(陸側H鋼杭・鋼矢板 300m)



工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海域工事 捨石+H鋼杭 (倒壊防止)		120m		35m			230m		100m
陸域工事 H鋼杭+鋼矢板 (倒壊防止)							300m		
被覆石 (バリエーション)								20m 40m	20m 40m
被覆石 (バリエーション)								20m 40m	20m 40m

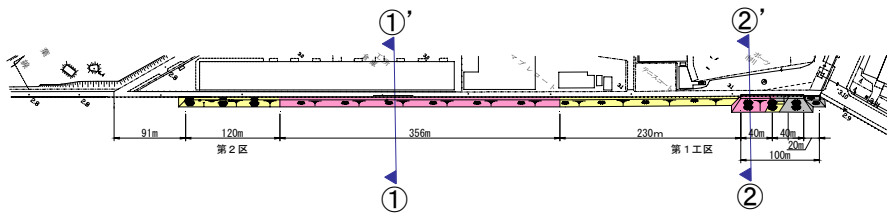
メリット

- バリエーションに影響しない箇所の完成形であり、検討時間ができる。
- 対象範囲の緊急対応が完了する。
- 新・旧基本断面が隣り合うことになり、完成形の比較が容易。

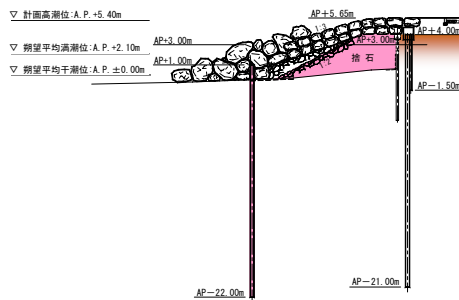
デメリット

- 新基本断面での完成形確認区間が短い。

第3案：完成形40m案 施工断面図



①-①'断面



②-②'断面

